フィレンツェから始まる パワーアンプソリューション

1995 年、Powersoft 社はイタリアのフィレンツェにおいて設立されました。現在の名立たるメーカーの多くがそうであったように、Powersoft も町の小さな作業場からのスタートでした。しかし創設者たちの製品開発への情熱と探究心によって、今ではイタリア内に 2 ヶ所の生産拠点を持ち、世界 50 ヶ国以上に輸出を行う規模までになっています。Powersoft が送り出すパワーアンプは全てその国内工場にて生産され、会社は ISO 9001:2000 を取得しています。これは製品創りの一貫性を確かなものにするばかりではなく、全てのクオリティコントールを目の届く範囲で行うことを可能にするためのものとなっています。そこから送り出されるアンプはその軽量さ、ハイパワー出力、1U 少スペース、そしてエネルギー効率の良さにおいて、プロフェッショナルオーディオマーケットにおけるリーディングプロダクトであることを自負しています。

Powersoft には、ハードウェア製造に精通したスタッフはもちろんのこと、ソフトウェア開発のスキルを持つスタッフも多く在籍しており、製品の開発・製造はその 2 者が両輪となっています。そこから生まれる独自の技術と卓越したハードウェア&ソフトウェアソリューションによって、Powersoft は複数の特許を取得しています。この革新的な製品群は、プロフェッショナルマーケットにおいて高く評価されており、世界を代表する SR カンパニーをはじめ、スタジアムやコンサートホール、クラブやライブハウス、ショッピングセンターやテーマパークなど、様々な現場で使用されています。また、OEM 供給に加え、Powersoft を推奨するスピーカーメーカーも増えています。

製造された全てのパワーアンプは測定機器による音響試験が行われます。その後テスト部門に送られたアンプは 48 時間に渡る耐久試験が行われ、最後にもう 1 度音響試験が行われます。Powersoft ではこれらのテストのために、パワーコンディショナーやアナライザー、ダミー抵抗などを独自に開発し、迅速かつ正確な試験を行っています。試験は自動化され、人為的なミスが入り込む余地を与えていません。物理的な試験は機械によって判断されますが、その音作りにおいては経験豊かなスタッフや現場からのフィードバックをもとに行われています。

Powersoft は常に進化を続けています。刻々と変化する状況に合わせた製品開発を行っており、2013 年には 2U サイズとなる 8ch パワーアンプを発表してます。また、DEVA と名付けられた製品はソーラーバッテリーで駆動可能な屋外設置可能な双方向通信デバイスで、新たなマーケットからの注目も受けています。今後もマーケットやユーザーの期待に応えるべく開発を続ける Powersoft、その歩みを止めることはありません。

K Series

ハイパワーながら軽量・コンパクトを実現

K2、K3 DSP+AESOP リア

K2、K3 リア

K2 / K3 / K6 / K8 / K10 / K20

K シリーズは、Powersoft の技術や先進的アイデアが用いられたフラッグシップモデルです。1U という少スペース設計でありながらハイパワー、高効率、低消費電流を実現しています。フロントディスプレイとデジタルキーボタンによるパラメーター設定やモニタリング、プリセットストア / リコールなどが可能となっています。また、各種保護回路も充実しており、アンプ本体の保護はもとより、スピーカー破損の危険性も低くしています。
K シリーズには最新のプロセッシングを可能にする DSP ボードと AES3 伝送及び Ethernet によるリアルタイム PC コミュニケーションを可能にする AESOP(AES Ethernet Simple Open Protocol) ボードを実装した DSP+AESOP モデルも用意されています。
※ご購入後に標準モデルから DSP+AESOP モデルへの仕様変更を行う場合は制限事項があります。

K シリーズの主な特徴

- PFC(Power Factor Correction) スイッチモードパワーサプライによるコンパクト化とハイパフォーマンスの両立
- PFC（力率改善回路）による低消費電流
- 可変スピード冷却ファン
- インラッシュカレント制御回路
- クリップリミッター制御
- デジタルインプットゲイン及びアウトプットアッテネーターコントロール
- 最大出力電圧及び最大消費電流設定
- インプットシグナルゲート機能
- DC、低周波、高周波、温度、ショートからの保護回路
- Armonia™ソフトウェと RS485 によるコントロール＆モニタリング（標準モデル、一部機能制限有り）
- オプションスマートカードによるプリセットメモリー及びファームウェアアップデート
- キーコードナンバーによるセットアップロック機能
- 50 インターナルプリセットストア

DSP カードオプション

40 ビット浮動小数点シグナルパスを有した最新の SHARC® DSP テクノロジーをアンプに付加

- AES3 デジタル入力
- 16 バンドパラメトリックイコライザー
- 最大ディレイタイム 2 秒
- Butterworth、Bessel、Linkwitz-Rile、IIR、FIR フィルター搭載
- LiveImpedance™による負荷インピーダンスモニタリング
- ピークリミッター及びパワーリミッター
- GPO 機能によるアラーム出力
- 特許ダンピングコントロール及びケーブル抵抗補正
- Armonia ソフトウェアと RS485 接続によるリモートコントロール（一部機能制限有り）

AESOP(AES Ethernet Simple Open Protocol) ネットワークと PC によるリアルタイムコントロール＆モニターを提供

- Armonia™ソフトウェアによるフルコントロール＆モニタリング
- RJ45 ポート +CAT5 ケーブル接続による AES3 リンク
- 32bit ARM プロセッサー
- 自動ネットワークコンフィグレーション（手動設定も可）
- NWare™ Plug-Ins、Crestron® Macros、AMX® Modules、Q-Sys™ Plug-Ins 対応（ファームウェアバージョンの要件有り）

K Series Spec

MODEL		K2	K3	K6	K8	K10	K20
出力（Peak）	8Ω	1000W×2	1400W×2	1300W×2	1500W×2	2000W×2	2700W×2
	4Ω	1950W×2	2600W×2	2500W×2	3000W×2	4000W×2	5200W×2
	2Ω	2400W×2	2800W×2	3600W×2	4800W×2	6000W×2	9000W×2
	8Ωブリッジ	3900W×1	5200W×1	5000W×1	6000W×1	8000W×1	10400W×1
	4Ωブリッジ	4800W×1	5600W×1	7200W×1	9600W×1	12000W×1	18000W×1
電源		AC100～240V（±10%）、50～60Hz					
消費電流	アイドリング時	1.3A	1.3A	1.3A	1.3A	1.3A	1.4A
（100V 換算 / 参考値）	1/8 パワー（4Ω）	7.3A	9.2A	9.5A	11A	14A	19A
寸法・重量		483W×44.5H×360Dmm、8kg		483W×44.5H×475Dmm、12kg			
入力コネクター		XLR3 相当、オス / メス各 2		Neutrik Combo、Jack×2			
出力コネクター		Neutrik NL4×2					
ゲイン		26、29、32、35dB 切替					
周波数特性（1W@8Ω）		20Hz～20KHz（±0.2dB）					
S/N 比（20Hz～20KHz,A ウエイト）		110dB 以上	112dB 以上	108dB 以上	109dB 以上	110dB 以上	110dB 以上
クロストーク（@1KHz）		72dB 以上	72dB 以上	70dB 以上	70dB 以上	70dB 以上	70dB 以上
スルーレート（8Ω,入力フィルターバイパス）		70dB50V/μs					
ダンピングファクター（20～200Hz）		5000 以上					
THD+N（1W～フルパワー）		0.5%未満　通常 0.05%未満					

Duecanali Series

Duecanali DSP+AESOP リアパネル

Duecanali リアパネル

Duecanali 3904 / Duecanali 5204

Duecanali 3904、Duecanali 5204 はそれぞれ K2、K3 の固定設備用モデルとなっています。
基本スペックは K2、K3 同等となっていますが、入出力が Phoenix タイプであることやフロント面のデザインなどに変更が加えられています。また、AUX 入力切換 24V コマンド入力やアラーム用 24V リレー出力などを装備し、より固定設備システムに特化した仕様となっています。なお、K シリーズ同様、DSP+AESOP モデルも用意されています。
※ご購入後に標準モデルから DSP モデルへの仕様変更はできますが、AESOP オプションは付加できません。

Duecanali シリーズの主な特徴

- ■ 基本性能は K2、K3 と同等
- ■ 特許リップルキャンセレーション出力フィルターネットワーク
- ■ PFC（力率改善回路）により消費電流を抑え幅広い電圧に対応
- ■ DC、低周波、高周波、温度、ショー等の保護回路
- ■ LCD ディスプレイとキーパッドによるコントロール / モニター
- ■ RS485 コントロール＆モニタリング
- ■ オプションスマートカードによるプリセットメモリー及びファームウェアアップデート
- ■ キーコードナンバーによるセットアップロック機能
- ■ 50 インターナルプリセットストア
- ■ DSP モジュールカードオプション
- ■ AESOP（Ethernet）モジュールカードオプション

Duecanali Series Spec

MODEL		Duecanali 3904	Duecanali 5204
出力(Peak)	8Ω	1000W×2	1400W×2
	4Ω	1950W×2	260W×2
	2Ω	2400W×2	2800W×2
	8Ωブリッジ	3900W×1	5200W×1
	4Ωブリッジ	4800W×1	5600W×1
電源		AC100～240V（±10%）、50～60Hz	
消費電流	アイドリング時	1.3A	1.3A
（100V 換算 / 参考値）	1/8 パワー（4Ω）	7.3A	9.2A
寸法・重量		483W×44.5H×375Dmm、8kg	
入力コネクター		3 ピン Phoenix メイン、AU× 各 2	
出力コネクター		2 ピン Phoenix×4	
24V コマンド入力		2 ピン Phoenix×2	
アラーム 24V リレー出力		2 ピン Phoenix×2	
入力インピーダンス		10kΩ バランス	
ゲイン		26、29、32、35dB 切替	
周波数特性（1W@1m,8Ω）		20Hz～20KHz（±0.2dB）	
S/N 比（20Hz～20KHz,A ウエイト）		110dB 以上	112dB 以上
クロストーク（@1KHz）		72dB 以上	
スルーレート（8Ω,入力フィルターバイパス）		50V/μs	
ダンピングファクター（20～200Hz）		5000 以上	
THD+N（1W～フルパワー）		0.5%未満、通常 0.05%未満	

M Series

M D DSP+ETH リア

M Q DSP+ETH リア

M D リア

M Q リア

M14D / M20D / M30D
M28Q / M50Q

Mシリーズはツアーリングから固定設備まで幅広く対応するミドルクラスのパワーアンプです。
用途に応じて 2ch モデル 3 機種、4ch モデル 2 機種のなかから選択することができます。他の Powersoft アンプ同様 1U サイズとなっていますが、上位機種の K や Duecanali シリーズで採用されている PFC はそれらよりも出力が低いこともあり、M シリーズでは用いられていません。また使用電圧も K や Duecanali シリーズではユニバーサル仕様となっていますが、M シリーズでは 115V(±15%) 仕様となっています。しかしながらコストパフォーマンスにも優れた M シリーズは手軽に Powersoft サウンドを手に入れることができます。
なお、M シリーズは別モデルとして DSP 搭載モデルが用意され、Armonia ソフトウェアによる Ethernet 経由でのモニタリング及び EQ、クロスオーバー、ディレイ、リミッターなどの設定が可能となります。

M シリーズの主な特徴

- ■ 1U、D=358mm、7.4kg のコンパクトサイズ
- ■ 先進のスイッチモード・パワーサプライによるハイパーフォーマンス
- ■ 特許リップルキャンセレーション出力フィルターネットワーク
- ■ 電圧、クリップ、VHF、ショート、温度などの各種プロテクション装備
- ■ ラウンドフォルムのフロントパネルの高さに納められたクリック付レベルボリューム
- ■ 1U サイズの 4ch ハイインピーダンストランスフォーマーユニット “Tu4” オプション

M Series Spec

MODEL		M14D	M20D	M30D	M28Q	M50Q
出力(Peak)	8Ω	360W×2	600W×2	900W×2	360W×4	750W×4
	4Ω	700W×2	1200W×2	1500W×2	700W×4	1250W×4
	2Ω	NA	NA	NA	NA	NA
	8Ωブリッジ	1400W×1	2400W×1	3000W×1	1400W×2	2500W×2
	4Ωブリッジ	NA	NA	NA	NA	NA
電源		115V (±15%)、50～60Hz				
消費電流	アイドリング時	0.7A	0.7A	0.7A	0.7A	0.7A
(100V 換算 / 参考値)	1/8 パワー (4Ω)	4.4A	5.8A	8.7A	8.6A	13.4A
寸法・重量		480W×44.5H×358Dmm、7.4kg				
入力コネクター		3ピン XLR タイプ、メス ×4				
出力コネクター		Neutrik NL4×2			Neutrik NL4×4	
ゲイン		32dB 切替				
周波数特性 (1W@8Ω)		5Hz～30KHz (±3dB)				
S/N 比 (20Hz～20KHz,A ウエイト)		113dB 以上				
スルーレート (8Ω,入力フィルターバイパス)		50V/μs				
ダンピングファクター@100Hz		5000 以上				
THD+N		typ.<0.01%、<0.02%@>0.1W				

M DSP Series

M14D / M20D / M30D DSP+ETH
M28Q / M50Q DSP+ETH

M シリーズに PC コントロール&モニタリングを可能にする専用 DSP を搭載したモデルです。PC との接続は Ethernet を用い、M シリーズに多彩な機能を付加することができます。M シリーズの基本性能に加え、全チャンネルにディレイ、EQ、クロスオーバー、リミッターなどの設定を行うことができます。また、本体に 4 つまでのプリセットをストアすることができ、本体でのリコールが可能となります。
※DSP 無しの M シリーズをご購入後に DSP+ETH へのアップグレードを行うことはできません。

M DSP シリーズの主な特徴

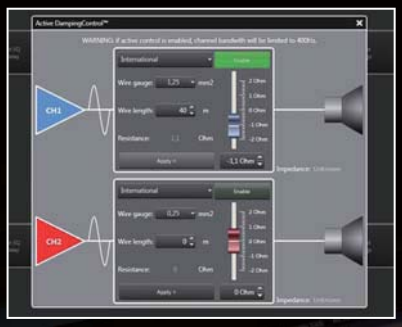
- Dual24Bit48kHz AD/DA コンバーター
- 本体に 4 プリセット可（4ch モデルは 1/2ch、3/4ch に別プリセット可）
- 独立したインプット及びアウトプット EQ セクション
- 48dB/oct まで設定可能なクロスオーバーフィルター
- Armonia ソフトウェアにより他の対応モデルと同時モニター/コントロール可
- 電圧リミッターとハイパスフィルターの設定によって 70/100V ラインを直接ドライブ可（M30D DSP+ETH、M50Q DSP+ETH）

Armonia software

Armonía Pro Audio Suite™

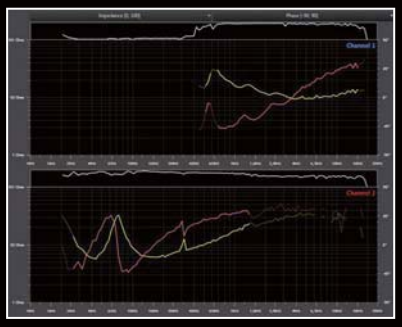
Armonia は対応する Powersoft アンプのコントールやモニタリングを可能にするソフトウェアです。K 及び Duecanali シリーズでは、標準装備の RS485 またはオプション・カードの実装により Ethernet 接続することができます。また M DSP 及び Ottocanali シリーズは Ethernet 接続となります。シリーズによって搭載 DSP が異なるため、コントロールできる内容も違ってきますが、パワーアンプの力を存分に引き出すことができます。
また、アンプ全体の設定だけではなく、チャンネルごとやイコライザーなど個別の設定も PC ファイルとして保存することができ、他のアンプへのコピーも行うことができます。
さらにセキュリティ面も強化され、マスターパスワードのほかにパラメーターグループを 4 つに分けて個別のパスワードを設定することも可能です。これによって管理者の権限レベルを設定することができます。

■ K 及び Duecanali シリーズのオプション DSP に搭載されたリアルタイムモニター



Damping Control™
400Hz 以下の低域におけるスピーカーケーブルによる信号の損失を補正し、コーンコーントロールを劇的に改善します。

TruePower™ Limiter
出力（W）及び電圧による詳細設定によって、常に変化する負荷インピーダンスに対応して安全な出力レベルを保つことができます。



LiveImpedance™
ドライブ周波数全帯域の負荷インピーダンスを常時モニタリングすることができます。また、保存していた標準カーブとの比較も可能です。

▶▶▶ サポートフォーラムサイト

Armonia ソフトウェアは専用のサポートフォーラムサイトから入手可能となっていますが、Ｅメールアドレスの登録が必要となります。これは常に最新の情報をユーザーにお届けするためです。ぜひご登録の上、ダウンロードしてください。
http://www.powersoft-audio.com/en/armonia-support-forum.html

Ottocanali K4 Series

Ottocanali 4K4 / Ottocanali 8K4 / Ottocanali 12K4

Ottocanali K4 シリーズは、設備での使用に特化した 8ch パワーアンプリファイヤーです。
Powersoft 初となる本格的 2U サイズのパワーアンプとなっており、ハイパワーを誇るだけではなく、PFC や特許の SRM (Smart Rails Management) を含めた Powersoft ならではの効率化を高め、CO2 削減にも寄与する Powersoft が提唱する Grenn Audio Power モデルとなっています。8ch ハイパワーでありながら 2Ω負荷も可能にしており、さらにリアのディップスイッチよってチャンネルごとに 70/100V ラインを設定することができ、ローインピーダンス、70V ライン、100V ラインを同時使用することもできます。入出力は Phoenix タイプとなっており、通常に入力以外に 24V コマンドによる AUX 入力やアラーム用 24V リレー出力なども装備しています。

Ottocanali 4K シリーズの主な特徴

- ■ Green Audio Power
- ■ ローインピーダンス、トランスレス 70V 及び 100V ラインの混合設定使用可
- ■ PFC (力率改善回路) スイッチモードパワーサプライによるコンパクト化とハイパフォーマンスの両立
- ■ 特許リップルキャンセレーションアウトプット
- ■ 特許SRM (Smart Rails Management)技術による高い効率と低消費電流
- ■ 内部温度による可変スピードファン
- ■ 温度、VHF、クリップリミッターなどの各種プロテクション

Ottocanali K4 Series Spec

MODEL		4K4	8K4	12K4
出力 (Peak)	8Ω	250W×8	600W×8	850W×8
	4Ω	500W×8	1000W×8	1500W×8
	2Ω	450W×8	850W×8	1000W×8
	70/100V	500W×8	1000W×8	1500W×8
電源		AC100～240V (±10%)、50～60Hz		
消費電流	アイドリング時	1.1A	1.1A	1.1A
(100V 換算 / 参考値)	1/8 パワー (4Ω)	7.4A	15A	21.3A
寸法・重量		483W×89H×360Dmm、14kg		
音声入力コネクター		4×12ピンフェニックスタイプ		
出力コネクター		2×8ピンフェニックスタイプ		
ゲイン		32 dB / x40 V		
周波数特性 (@1W,4Ω)		20Hz～20kHz ±0.5dB		
S/N 比 (20Hz～20KHz,A ウエイト)		>107dB		
クロストーク (@1KHz,4Ω)		>65dB		
スルーレート (8Ω,入力フィルターバイパス)		50V/μs		
ダンピングファクター		>10000@100Hz		
THD+N/DIM100IMD		<0.08%(typically<0.05%)@4Ω		

Ottocanali Series

Ottocanali 1204 / 1204DSP+ETH

Ottocanali は固定設備用途に開発された 8 チャンネルパワーアンプです。チャンネルあたり最大 160W(4Ω) となっていますが、オプションのプラグイントランスフォーマーの装着によりチャンネルごとに 70V、100V ライン出力の設定も可能となっています。また、チャンネルごとのアラーム用 24V リレー出力や AUX 入力切替及び電源オン / オフ 24V コマンド入力なども装備しており、設備に特化した仕様となっています。Ottocanali 1204 は別モデルとして DSP 搭載モデルが用意され、Armonia ソフトウェアによる Ethernet 経由でのモニタリング及び EQ、クロスオーバー、ディレイ、リミッターなどの設定が可能となります。

1204 の主な特徴

- 1U、D=360mm サイズで 8×160W(4Ω)
- BatFormers の装着によりチャンネルごとに 70V または 100V ライン対応可
- PFC（力率改善回路）により消費電流を抑え幅広い電圧に対応
- 特許リップルキャンセレーション出力フィルターネットワーク
- DC、低周波、高周波、温度、ショー等の保護回路
- 不用意な操作を避けるためフロントパネルの操作部はカバー背面に配置

Ottocanali Series Spec

MODEL		1204（DSP+ETH）
出力(Peak)	8Ω	80W×8
	4Ω	150W×8
	70/100V	125W×8（70V）/130W×8（100V）（オプション：BatFormer 装着時）
電源		AC100～240V（±10%）、50/60Hz
消費電流	アイドリング時	0.3A
（100V 換算 / 参考値）	1/8 パワー（4Ω）	2.9A
寸法・重量		483W×44.5H×360Dmm、5～11kg（BatFormer 装着数による）
音声入力コネクター		メイン及び AUX 3ピン Phoenix× 各 8
出力コネクター		2ピン Phoenix×8
パワーオン / オフリモート		2ピン Phoenix×1
ゲイン		Lo-z: 32dB, Hi-z: 41dB@70V, 44dB@100V
周波数特性（1W@1m,8Ω）		20Hz - 20kHz (1W@8Ω, +/-0.5dB, or 32/65W@70/100V, +/-2.5dB)
S/N 比（20Hz～20KHz,A ウエイト）		>112dB(A)
クロストーク（@1KHz）		>70dB@1 kH
スルーレート（8Ω,入力フィルターバイパス）		15 V/µs @ 8Ω. input filter bypassed
ダンピングファクター（20～200Hz）		>500@20-200Hz (Lo-z)
THD+N（1W～フルパワー）		typ. <0.05% (<0.5%@>1W)

Deva Series

DEVA 全天候型マルチデバイス

DEVA は今までの音響機器の概念を超えた全天候型マルチデバイスです。Powersoft 製パワーアンプとスピーカーを組み合わせたエンクロージャーにネットワーク機能を持たせ、さらにオプションのソーラーバッテリーユニットとの組合せによって、電源供給が不可となった場合でも駆動させることができます。Ethernet 対応のネットワーク機能は有線及び WiFi での双方向通信を可能にしています。この DEVA は屋外での音楽やページング再生をはじめ、内蔵マイクやオプションカメラによってセキュリティ監視や災害時の情報発信・収集端末としても機能します。

DEVA シリーズの主な特徴

- ソーラーパワー、双方向ワイヤレス A/V コミュニケーション、照明、極めて効率の高い Class D アンプが集結した革命的な新しいマルチメディアディバイスの全天候型エンクロージャー
- 音声メッセージ発信やオプションのビデオカメラや高輝度LEDライトによる映像監視
- 内蔵マイクロフォンをはじめ人感センサーや照度センサースイッチ、温度・湿気・気圧計による状態測定
- 有線ネットワークによる電源供給のほかに内蔵電池、オプションのソーラーバッテリーを用意

GREEN AUDIO POWER で省エネはパワーアンプから

GREEN AUDIO POWER

Powersoft の技術のなかでも “Green Audio Power” というのは、その製品開発思想の大きなキーワードとなっています。それはひとことで言ってしまうならば「エネルギー効率の良い製品創り」ということになります。
近年、環境問題への関心はますます高まっています。なかでも地球温暖化の原因とも言われている CO2 の排出については、身近な問題として捉えられ、節電や公共機関の利用などの対策がなされている場合も少なくありません。電力を使用するパワーアンプも例外ではないと Powersoft は考えます。特に大きなイベントや設備などでは多数のパワーアンプが使用され、CO2 排出の連鎖に属していることは紛れもない事実と言えるでしょう。

パワーアンプにできることは何か？ Powersoft はこの問題に取り組み、その答えの1つが「エネルギー効率の良い製品創り」となったのです。環境に優しいグリーンエネルギーという言葉を耳にする機会も多くなってきていますが、Powersoft ではそのイメージを元に、一般製品との差別化を図るため “GREEN AUDIO POWER” という言葉を作り商標登録も行っています。
GREEN AUDIO AUDIO は2つのコンセプトを柱としています。

- スイッチングモードパワーサプライと PFC の組み合わせ
- クラス D PWM によるアウトプットステージの高効率化

PFC ～力率改善回路～

PFC(Power Factor Correction) とは力率改善回路のことを指し、身近なところではパソコンの電源部に多く採用されています。この技術は地域や業界によってはその使用が必須となっているほどです。この PFC の採用により、CO2 排出量で換算するとそれを持たない回路に比べ、単純比較で約４０％削減という恩恵をもたらします。また､電源からの電流を削減することができるため､電源ケーブルでのロスも減り、同時に発熱量を減らす効果もあるのです。

Class D ～ PWM アウトプットステージ～

Powersoft が 1995 年に導入したこのテクノロジー PWM(Pluse Width Modulation) は、現在では他のメーカーでも採用されている技術です。その鍵となるのは電源からのエネルギー全てを使用可能なパワーに変換し、スピーカーからのリアクタンスエネルギーを再利用する（※従来のリニアアンプにおいてはダメージを与えてしまうことがあります）という非常に高い効率面です。この技術はツアーリング及び固定設備において有用な機能を持った製品を産み出し、特に Powersoft 製品においては以下の３つ利点が特徴となっています。

- 非常に高い効率により、より低いエネルギーで同出力を得ることが可能
- クーリングシステムの縮小可
- アンプの台数削減やコンパクトによる直接的な省電力化に加え、運搬時の重量や体積を減らすことによる間接的な CO2 排出量削減

この PFC と Class D PWM アウトプットステージの２つが統合されることによって、省電力化は飛躍的に前進しました。イベントやエンターテイメントに関わる人々はアーティストやファンの移動、チケット販売やプロモーション活動、さらにはケータリングや記念品販売などが環境に与える影響について多くのことを学んでいるはずです。しかしながらそこで使用される機材について注意が払われることはほとんどありません。なぜなら機材による影響はイベント全体において、ほんのわずかであると考えられているからです。そういった状況においても Powersoft はエコロジー効果のある製品の大切さを訴え続けており、実際に製品作りに活かしているのです。

Powersoft にできること

ここで一例を考えてみましょう。比較のため PFC を持たない K シリーズを用意するものとします。あるライブイベントにおいてパワーアンプが必要とする電力を約 180kW、セットアップやサウンドチェクを含めたランニング時間を 6 時間と仮定します。このイベントに必要な電力は「180kW×6H=1080kWh」です。もしこのイベントで PFC を持った本来の Powersoft K シリーズを使用し、同じパワーで使用した場合、消費される電流は約 40% 削減されるため「1080kWh×40%=432kWh」の電力がセーブされる計算になります。

1kWh で消費される CO2 は諸条件によって異なるため一概には言えませんが、Powersoft があるイタリアのある文献を元に計算した場合、約「260kg」ものCO2 を削減できたという結果になったのです。SIAE（イタリア著作権協会）によれば年間５万回程度のイベントが開催されており、上記の数字から算出した場合、年間「260kg×50000=13000t」という量になります。これは 1 年間で 10000km 走る一般自動車 6500 台分相当となり、イタリア全土が排出する CO2 の約 0.003% にも匹敵するのものです。これは固定設備でも同様です。大規模なライブイベントに比べると時間当たりの電力消費は少ないかも知れませんが、ほぼ毎日長時間において駆動されるという場合も少なくありません。

この現実を世界レベルで考えてみてください。
Powersoft は GREEN AUDIO POWER が地球のために貢献していることを信じています。そして Powersoft のパワーアンプを使用するユーザーはその貢献の一端を担っているのです。

ホームページアドレス　**http://mtc-japan.com**

mtc japan

このカタログは2013年11月現在のものです。
●仕様および外観等は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●カタログと実際の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
●記載の商品･ブランド名･ロゴは各社の登録商標です。

松田通商株式会社 Mail：info@mtc-japan.com
本　　社 〒107-0062 東京都港区南青山 3-3-15 MTC ビル TEL：03-5413-4611 FAX：03-5413-4618
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-8-15 EPO新大阪ビルディング303 TEL：06-6101-2822 FAX：06-6101-2823

ご注意　正しく安全にお使いいただくため､ご使用の前に必ず『取扱説明書』と『安全上のご注意』をよくお読みください。